



2024年6月11日

各 位

会社名 株式会社 トップカルチャー  
代表者名 代表取締役社長 CEO 清水 大輔  
(コード番号 7640・東証スタンダード)  
問合せ先 取締役財務部長兼管理部長 遠海 武則  
T E L 025-232-0008  
<https://www.topculture.co.jp>

### 2024年10月期第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会決議に基づき、2023年12月14日に公表いたしました2024年10月期第2四半期(累計)業績予想を下記のとおり修正いたしましたことをごお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 業績予想の修正について

2024年10月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2023年11月1日～2024年4月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	9,636	△188	△223	△542	△34.74
今回修正予想(B)	9,792	△162	△192	△218	△14.00
増減額(B-A)	156	26	31	324	
増減率(%)	1.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2023年10月期第2四半期)	10,265	△166	△195	△244	△20.22

2024年10月期 第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2023年11月1日～2024年4月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	8,862	△299	△613	△39.32
今回修正予想(B)	8,954	△207	△221	△14.21
増減額(B-A)	92	92	392	
増減率(%)	1.0	—	—	
(ご参考)前期実績 (2023年10月期第2四半期)	9,963	△189	△236	△19.60

## 2. 公表の理由

今期は新たな中期経営計画（2024年10月期～2026年10月期）の初年度において、不採算店舗の早期撤退による撤退損を特別損失として計画しております。第2四半期における売上高、営業利益、経常利益につきましては、ほぼ計画を上回り推移しております。一部店舗の撤退については、後継テナントの誘致並びに合意解約の検討を進めているため、第3四半期以降の撤退となる計画です。

これにより第2四半期累計期間については、当初計画していた金額より特別損失の金額が減少した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は期初計画値を上回る結果となりました。

なお、通期連結業績予想及び通期個別業績予想については、第3四半期以降の現時点における状況及び撤退損を想定し期初発表と変更はありません。

※上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上